

企画展プレスリリース「奇想天外! アートと教育の実験場 筑波大学〈総合造形〉展」

平素より当館の事業にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

標記の件につきまして、本書のとおりご案内いたします。

1 展覧会名 企画展「奇想天外!アートと教育の実験場 筑波大学〈総合造形〉展」

2 会 期 平成 28 年 11 月 3 日 (木祝) ~平成 29 年 1 月 29 日 (日)

3 展覧会概要 (資料 2 ~ 3 頁参照)

メディアアーティストにして絵本作家の岩井俊雄, ユニークなパフォーマンスでテレビでもおなじみの明和電機など, 多彩な分野で活躍する筑波大学〈総合造形〉の卒業生たち。彼らが学んだ筑波大学〈総合造形〉の実体に迫ります。

4 出品作家 15 人 (歴任教員 9 人, 卒業生 6 人), 章立て (資料 3 頁参照)

I 「総合造形」という実験: 創設期を支えた 4 人の教員

三田村 ^{しゅんすけ} 峻右, 山口 勝弘, 篠田 守男, 河口 龍夫

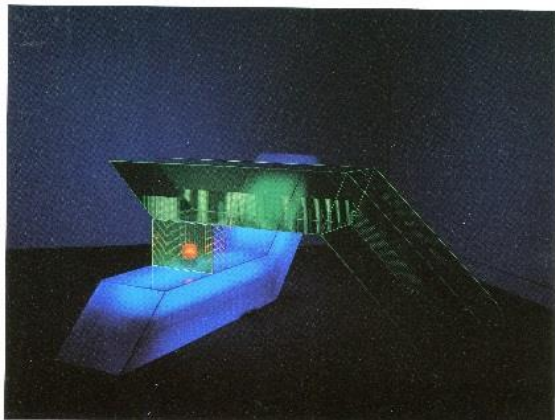
II 「総合造形」の新たな展開: 現在へ至る教員たちの試み

河口 洋一郎, 國安 ^{くにやす} 孝昌, 逢坂 ^{おおさか} 卓郎, 村上 史明, 小野 裕子 (小野養豚ん)

III 「総合造形」からの巣立ち: 新たな道を切り拓く卒業生

佐々木 秀明, 岩井 俊雄, 寺田 真由美, 土佐 信道 (明和電機), 勿木 ^{なぐさ} リョウ, 林 ^{ごうじんまる} 剛人丸

5 主な出品作品 (資料 6 頁参照)



左: 山口勝弘「五月の橋」1968年 蛍光灯、アクリル樹脂等 242×236.5×99.5 cm いわき市立美術館蔵

中央: 國安孝昌「雨引く里の竜神」2013年 陶ブロック, 木

右: 明和電機「ナポレオン銃」2015年 ©YOHEI SHIMADA

《問い合わせ先》茨城県近代美術館

Tel: 029-243-5111 / Fax: 029-243-9992 / E-mail: fukyu-pub@modernart.museum.ibk.ed.jp

展覧会担当: 美術課 吉田 / 広報担当: 企画普及課 平川

1 展覧会名

奇想天外！アートと教育の実験場 筑波大学〈総合造形〉展

2 主催等

主催 茨城県近代美術館

共催 筑波大学

助成 一般財団法人 地域創造，公益財団法人 花王芸術・科学財団

後援 水戸市，朝日新聞水戸総局，茨城新聞社，株式会社茨城放送，NHK水戸放送局，
産経新聞社水戸支局，東京新聞水戸支局，日本経済新聞社水戸支局，
毎日新聞水戸支局，読売新聞水戸支局

3 会期

平成 28 年 11 月 3 日（木祝）～平成 29 年 1 月 29 日（日）

休館日：月曜日，12 月 29 日（木）～1 月 1 日（日） ※ただし 1 月 2 日（月）・9 日（月）は
開館，1 月 3 日（火）・10 日（火）は休館

開館時間：午前 9 時 30 分～午後 5 時（入場は午後 4 時 30 分まで）

4 会場

茨城県近代美術館

（2 階第 1・第 2 企画展示室，1 階第 2 常設展示室，1 階アートフォーラム，屋外）

5 入館料

一般 980（850）円，高大生 720（600）円，小中生 360（240）円

※（ ）内は 20 名以上の団体割引料金

※満 70 歳以上の方，障害者手帳等をご持参の方，高校生以下 {土曜日及びマルシェ・ド・ノエル期
間（11 月 18 日（金）～20 日（日）}，11 月 13 日（日）県民の日は入場無料

6 展覧会概要（604 文字）

メディアアーティストにして絵本作家の岩井俊雄，ユニークなパフォーマンスでテレビでもおなじみの明和電機など，筑波大学〈総合造形〉の卒業生は，絵画や彫刻など一般的な「美術」のイメージをくつがえすユニークな活動を展開しています。その活動の原点ともいえるべき学生時代に，彼らは何を学び，そして現在に至ったのでしょうか。

本展では，筑波大学芸術系の総合造形領域にスポットを当て，美術教育の現場に迫ります。同コースでは，1975 年の創設時よりホログラフイーの三田村 峻^{しゅんすけ}右（1936-），メディアアートの山口勝弘（1928-），立体造形の篠田守男（1931-），現代美術の河口龍夫（1940-）など，実験精神に富んだ意欲的な作家を次々と教員に迎え，先鋭的な現代美術教育を約 40 年にわたり行ってきました。彼らによる刺激的な授業はもとより，その言説や学外における精力的な活動が，学生たちに及ぼした影響は少なくないでしょう。

インスタレーション，立体造形，メディアアートなど，多岐にわたる歴代教員及び卒業生の作品を，通常の展覧会よりも会場を拡大し，また屋外も使用することで，大規模に紹介します。また，教員による奇想天外な名物授業に関する資料も展示するほか，会期前に県内の高等学校で実施したアウトリーチ（出前授業）の成果も関連展示することで，美術と教育の実験場とも称すべき〈総合造形〉の熱気をお伝えします。

【広報文1】(56字)

世界を舞台に活躍する〈総合造形〉の歴代教員や、明和電機をはじめユニークな活動を展開する卒業生の作品を紹介します。

【広報文2】(105字)

メディアアーティストにして絵本作家の岩井俊雄，ユニークなパフォーマンスでテレビでもおなじみの明和電機など，多彩な分野で活躍する筑波大学〈総合造形〉の卒業生たち。彼らが学んだ筑波大学〈総合造形〉の実体に迫ります。

【広報文3】(172字)

メディアアーティストにして絵本作家の岩井俊雄，ユニークなパフォーマンスでテレビでもおなじみの明和電機など，多彩な活動を繰り広げる筑波大学〈総合造形〉の卒業生たち。本展では彼らが学んだ教育現場に迫り，世界を舞台に活躍する三田村峻右，山口勝弘，篠田守男，河口龍夫など歴代教員，そして卒業生による作品とともに，奇想天外な教育手法もあわせて紹介します。

7 出品点数，章立て

出品作家 15 人（歴代教員 9 人，卒業生 6 人）

I 「総合造形」という実験：創設期を支えた4人の教員

三田村^{しゅんすけ}峻右 (1936-) 在職 1976～2000 年／ホログラフィ
山口 勝弘 (1928-) 在職 1977～1992 年／メディアアート
篠田 守男 (1931-) 在職 1979～1994 年／立体造形（金属）
河口 龍夫 (1940-) 在職 1983～2003 年／現代美術

II 「総合造形」の新たな展開：現在へ至る教員たちの試み

河口洋一郎 (1952-) 在職 1992～98 年／CG
國安^{くにやす} 孝昌 (1957-) 在職 1994～現在／インスタレーション
逢坂^{おおさか} 卓郎 (1948-) 在職 2004～現在（特命教授）／ライトアート
村上 史明 (1978-) 在職 2008～現在／メディアアート
小野 裕子 (1978-) 在職 2013～現在／立体造形

III 「総合造形」からの巣立ち：道を切り拓く卒業生

佐々木秀明 (1958-) 1982 年卒業／ライトアート
岩井 俊雄 (1962-) 1985 年卒業・87 年修了／メディアアート・絵本
寺田真由美 (1958-) 1989 年修了／立体造形・写真
土佐 信道 (1967-) 1991 年卒業・93 年修了／メディアアート（明和電機）
^{くわく}リョウカ (1971-) 1994 年卒業・96 年修了／メディアアート
林^{ごうじんまる} 剛人丸 (1968-) 1998 年修了／バルーンアート

8 展覧会の特徴と見どころ

(1) 総合造形とは何か？ それは関係者にもワカラナイ

現代美術の教育を旨とする〈総合造形〉では、「絵画」「彫刻」といったジャンル、あるいは固有の材料や技法にとらわれることなく自由にメディアを選択し、現代社会に生きる自らを軸にして道なき道を切り拓きながら、創作活動が行われてきました。現代美術の多様性、それは〈総合造形〉という教育の場にも現れているのです。

(2) 総合造形の魅力・・・それは個性豊かな教員たち

未だ開発途上にあつた「ホログラフィー」をいち早く美術に取り入れ、学生と共に実験を繰り返した三田村峻右。新たなテクノロジーを応用して美術の可能性を追究し、国内外での活躍を背景に学内に新たな風を呼び込んだ山口勝弘。大学の工房にこもってフライス盤（金属加工）を操った篠田守男は、同時代の海外の美術事情にくわしく、授業外でも学生たちと親しく交流し多くの影響を与えました。金属や化石、植物の種子など様々な素材を用いて目に見えない関係を感知させる河口龍夫は、作家としての覚悟を背中ににじませながらも、機知に富んだ話術とユニークな課題が学生に絶大な人気を誇りました。

(3) 教育の現場をのぞきみる！ ユニークな課題からさぐる創作のヒント

コピー機を使用して作品をつくる「コピーアート」、新たな発想によるびっくり箱や誕生した我が子に与えるおもちゃを創作する「遊戯装置」、シナリオから音楽、演出、役者までをこなす「パフォーマンス」など、〈総合造形〉には教員の創意工夫によるユニークな名物授業が数多くあります。これらの授業をのぞきみることは、教員たちの芸術に対する考えに触れることにもなるでしょう。歴任教員による授業の一端を、資料や映像等で紹介します。

(4) 明和電機 誕生のヒミツを探る！ 学生時代の作品（ロボット）も公開

テレビ番組で一躍有名になった“明和電機”。芸能人に間違えられる彼（土佐信道）も〈総合造形〉出身のアーティストです。在学時には金属加工と音楽に熱中してロボットを制作するも「生命の『ハリボテ』」にすぎないと絶望、新たに取り組んだのが、魚を題材にした楽器のようなナンセンスマシーン「魚器（NAKI）」のシリーズでした。本展では、笑いをさそうパフォーマンスの裏に隠された美術への真摯な姿勢と、「明和電機」という独自のアート戦略のヒミツを垣間見ることでしょう。オープニングでは、パフォーマンスを行います。

(5) 光を音に変換する！ 岩井俊雄 のメディアアート

メディアアーティストの第一人者、岩井俊雄は、代表作として坂本龍一とのピアノと映像によるパフォーマンス（1996年）が挙げられる一方で、ファミコンゲーム「オトッキー」（1987年）やテレビ番組「ウゴウゴルーガ」（1992-4年）を手がけ、また現在は『100 かいだてのいえ』などの絵本作家としても人気を集め、メディアの垣根をものともしない柔軟な発想力で多方面に活躍しています。

中でも岩井のメディアアート作品は、造形的な魅力と操作性の良さを兼ね備えて鑑賞者を作品へと誘う、きわめて良質なインタラクティブ作品と言えます。本展では、展示スペース内のさまざまな光を音に変換する「サウンド・レンズ」（2011年）を再構築する予定です。

(6) この美しさは、必見です！ 光を効果的に取り入れた4人の作家

地球にふりそそぐ宇宙線を感知して柔らかな光が明滅する逢坂卓郎のライトアート。床に投じた光が雫の滴りによって揺れ動く佐々木秀明のインスタレーション。レール上をゆっくりと移動する光源が、室内全体にノスタルジックな風景を影によって描き出し、見る者を圧倒的な映像美で包み込むクワクポリョウウタのデバイス・アート。部屋の模型を制作して光のもとに撮影することで、私的な部屋のようにありながら不在の感覚、微かな違和感を生じさせる寺田真由美の写真作品。

図版からはうかがい知れない、彼ら4人の美しい作品を会場でぜひご堪能ください。

9 会期中のイベント

(1) オープニングセレモニー

日時：11月3日（木・祝）9：10～9：30

場所：1階エントランスホール

内容：出品作家を迎えたテープカット

※なお、10：30から明和電機によるパフォーマンスを行います（参加自由、定員なし）

定員：先着50名

申込方法：来館または往復ハガキ（往信用文面に希望者全員の住所、氏名、年齢、電話番号を、返信用宛名面に宛先を明記のうえ、当館「オープニング係」宛）

締切：10月23日（日）

(2) マルシェ・ド・ノエル2016

日時：11月18日（金）、19日（土）、20日（日）の3日間 9：30～16：00

場所：近代美術館正面出入口及びテラス

内容：ヨーロッパのクリスマス市をイメージした物販と飲食（60店舗出店予定）

※その他イベントについてはチラシ等に掲載のうえ、後日送付いたします。

10 問い合わせ先

茨城県近代美術館

〒310-0851 茨城県水戸市千波町東久保666-1

Tel:029-243-5111 Fax:029-243-9992

E-mail: fukyu-pub@modernart.museum.ibk.ed.jp

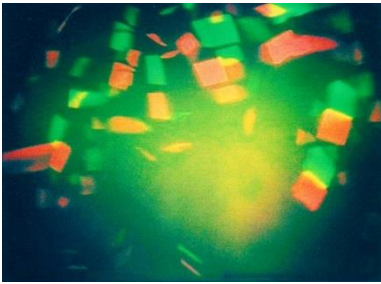
展示担当：美術課 吉田 / 広報担当：企画普及課 平川

出品作品図版

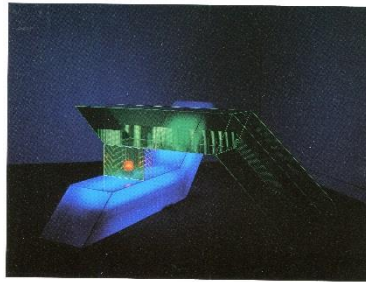
※1 このページ及び1ページに掲載された作品は、本展覧会の広報目的の場合にのみ掲載可能です。

※2 画像には、作家名・作品名・制作年・所蔵・撮影者・クレジットを必ず入れてください。

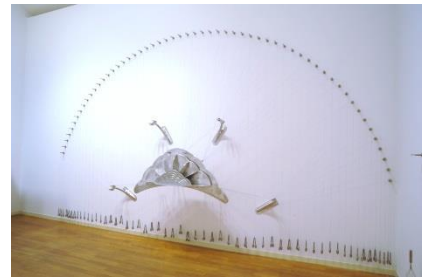
(材質、寸法は参考データです)



1



2



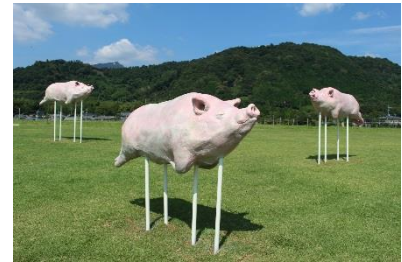
3



4



5



6



7



8



9



10

- 1 三田村 駿右^{しゅんすけ}「紙吹雪」1989年 単露光レインボウ・ホログラム(反射再生) 30×40 cm
- 2 山口勝弘「五月の橋」1968年 蛍光灯、アクリル樹脂等 242×236.5×99.5 cm いわき市立美術館蔵
- 3 篠田守男「G8252 世阿弥」2013年 アルミニウム、ステンレス、真鍮、鉛 W1200×D63×H380 cm (サイズ可変) 撮影：加藤成文
- 4 河口龍夫「関係ー教育・エドゥカティオ」1992-97年 木、銅、和紙、真鍮など いわき市立美術館蔵 撮影：齋藤さだむ
- 5 逢坂卓郎^{おあさか}「Appearance and Disappearance -Marl 2004」2004年 緑色LED、ネオン、アクリル、シンチレーター等
- 6 小野養豚ん「... pigeep... pigeep... 」2015年 ポリエステル樹脂 各 W195×D40×H69.5 cm
- 7 國安孝昌^{くにやす}「雨引く里の竜神」2013年 陶ブロック、木
- 8 佐々木秀明「雫を聴く」2002(再構成2013)年 水、ワーロン、アルミニウム、プラスチック、ステンレスワイヤー、ガラス、電球等
- 9 寺田真由美「curtain 010416a」2001年 ゼラチンシルバープリント 138.4 x 101.6 cm BASE GALLERY 蔵
- 10 明和電機「ナポレオン銃」2015年 ©YOHEI SHIMADA